平成 30 年度 宇都宮大学3C基金 寄附受入状況と活動報告

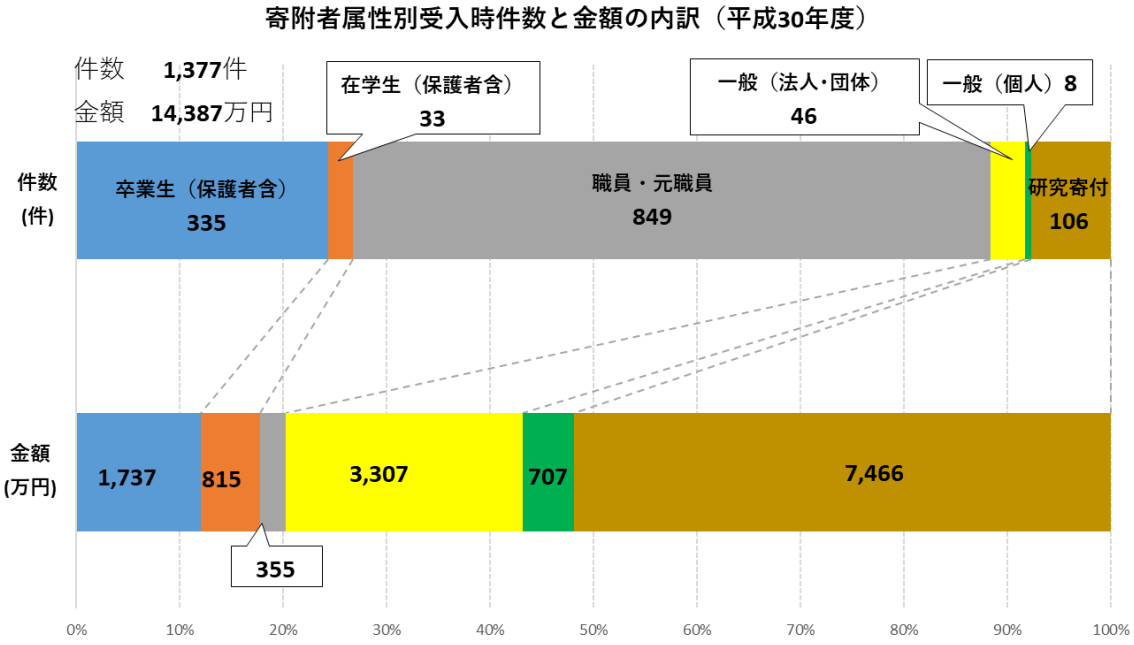
本基金は、旧基金をベースに拡充し平成 29 年度より宇都宮大学3C基金と改めました。宇都宮大学3C基金設立後、皆様からの多くのご支援をいただき、積み立てられた寄附金を学生支援、教育研究活動支援、地域貢献活動支援、キャンパス環境の整備と充実等に反映させていただいております。本基金の趣旨に対して、深いご理解とご協力を賜わり、多大なるご寄附を頂戴しましたこと、厚く御礼を申し上げるとともに、これまでのご寄附に関する状況と平成 30 年度の事業実績について報告いたします。

１．寄附に関する状況

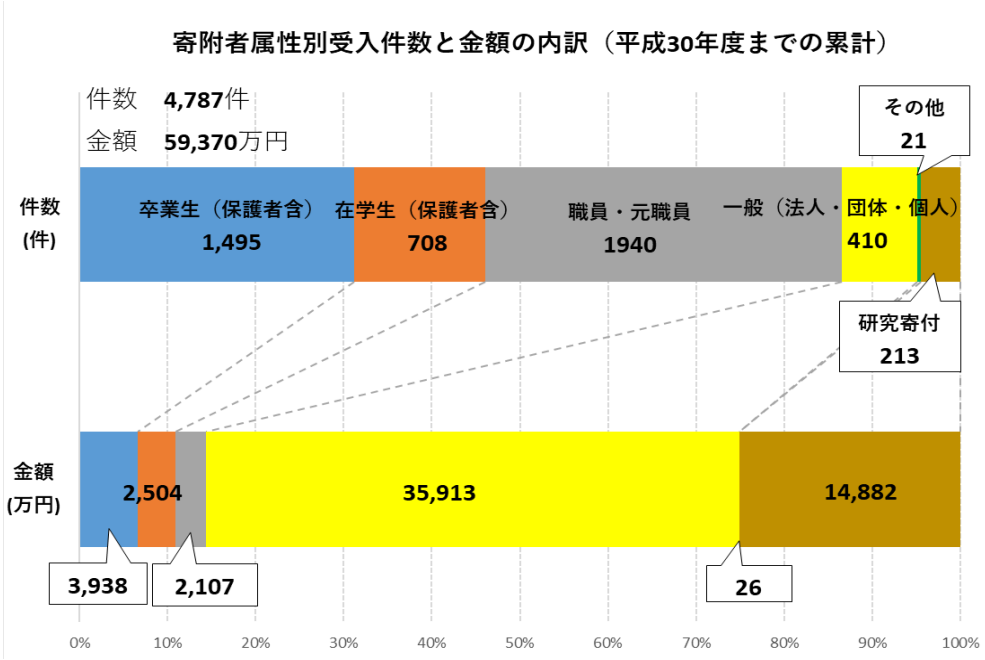
平成 30 年度までに、卒業生、在学生、職員（元職員）、法人・団体の方々から 4,787件、総額約5 億93百万円のご寄附を頂戴いたしました。

また、97 名の個人の方々と 30 法人様が「宇大倶楽部」にご入会いただき、継続的なサポーターになっていただきました。

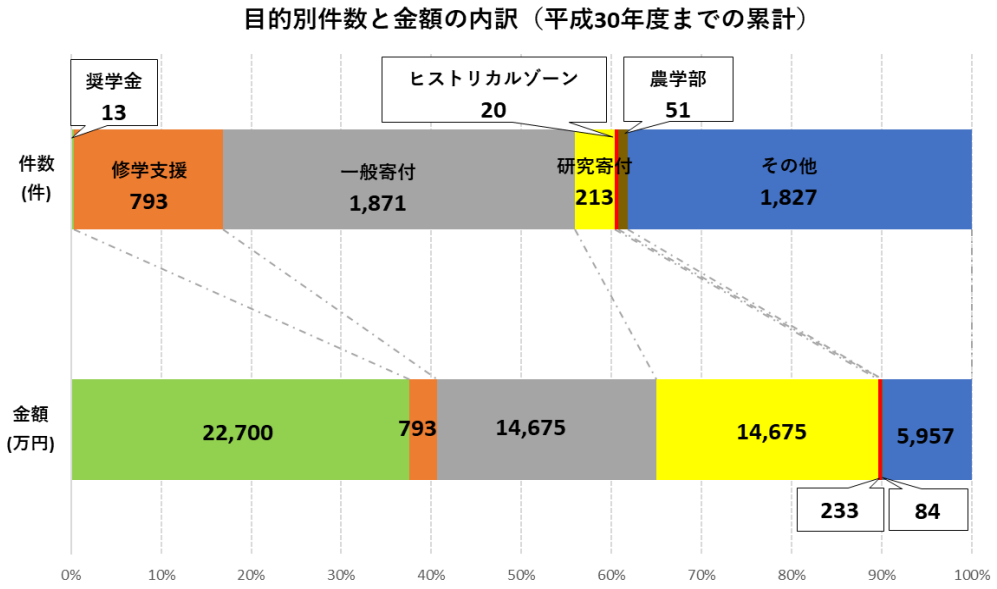
平成 30 年度に頂戴した寄附者属性別による受入件数と金額の内訳は以下のとおりです。



平成 30 年度末までに頂戴した寄附者属性別による受入件数と金額の累計による内訳は以下のとおりです。



平成 30 年度末までに頂戴した目的別件数と金額の内訳は以下のとおりです。



奨学金　飯村チャレンジ奨学金、増山奨学金、斉藤裕奨学金、関スポーツ奨学金

修学支援　経済的な理由により修学が困難な学生への支援

一般寄附　大学への全般的な支援

研究寄附　寄附者より、使途を教員の研究に指定された寄附金

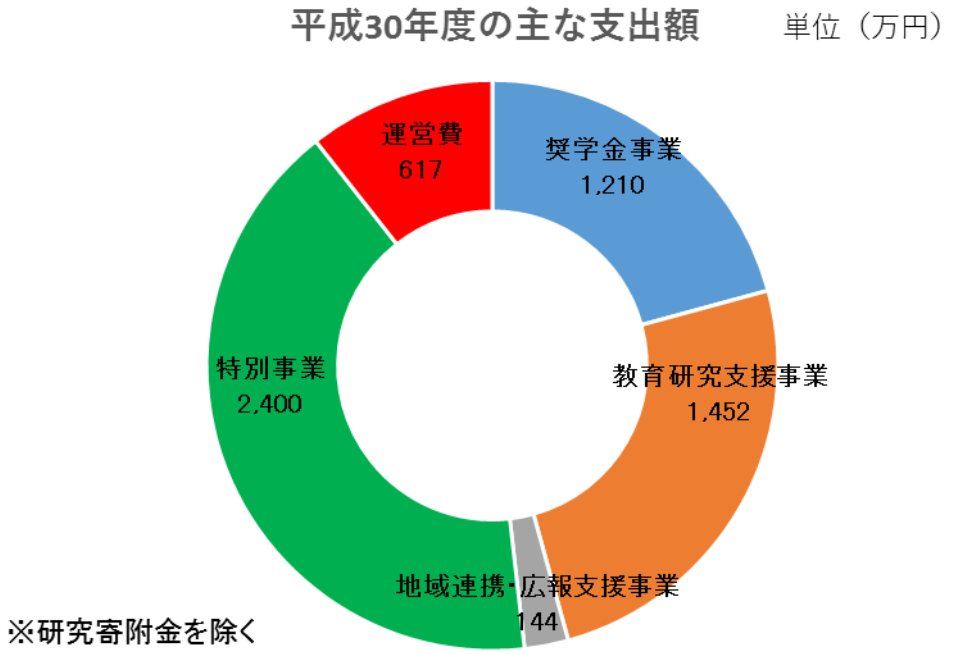
ヒストリカルゾーン　ヒストリカルゾーンの整備

農学部　農学部 100 周年記念事業

その他　旧基金の枠組による使途を問わない、学生、外国人留学生、国際交流、キャンパス整備等

２．平成 30 年度の主な実施支援事業の報告

皆様から頂戴したご寄附は、以下の支援事業にて使用させていただきました。



＜奨学金事業＞

● 飯村チャレンジ奨学金（光陽電気工事株式会社様（代表取締役社長：飯村慎一氏）からのご寄附）

学士課程に在籍し、経済的な支援が必要と認められる学生 15 名に対して、月額 3 万円/12 ヶ月（合計 36 万円）の給付を行いました。給付者については、ボランティア活動に積極的に参加することを条件に、チャレンジ精神旺盛な学生を書類と面接によって選考しました。

各学生のボランティアや研究活動についての報告会を、11 月（学内）と 2 月（会津市での研修旅行）にて開催しました。

中間報告会（１１月）

最終報告会（２月）

会津研修旅行にて会津市長と面談

会津研修旅行にて日新館見学

● 入学応援奨学金

宇都宮大学への入学を希望しながら、経済的理由により進学を断念せざるを得ない栃木県内高校出身の学生 10 名に対し、入学時に必要となる学資の一部として 1 名あたり 30 万円を支給しました（選考は平成 30 年度に実施し、平成 31 年 4 月に支給）。

● 関スポーツ奨学金 （関雅樹様（株式会社栃木ブレックス取締役会長）からのご寄附）

課外活動団体（体育系で各種競技大会に出場している任意団体）に所属し、積極的にスポーツ活動に参加しており、スポーツと活動と学業の両立のため、経済的に支援が必要と認められる学生 9 名に対して、1 名あたり 10 万円の給付を行いました。

● 増山奨学金−外国人留学生支援奨学金−（増山律子様（ランスタッド株式会社名誉会長）からのご寄附）
大学院修士課程および博士前期課程に在籍する学生のうち、学業成績および人物が優秀で、かつ留学時の生活のための経済的支援を必要とする私費外国人留学生 6 名（前期）、4名（後期）に対して、それぞれ 10 万円の給付を行いました。

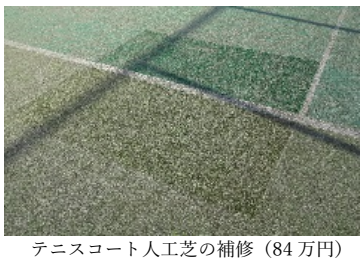
● 増山奨学金−海外留学支援奨学金− （増山律子様（ランスタッド株式会社名誉会長）からのご寄附）
条件を満たす該当者がいなかったため、平成 30 年度の支給はありませんでした。

● 斎藤裕奨学金
理工系の学士課程 4 年生と大学院修士課程および博士前期課程に在籍する学生のうち、先進的な研究開発に意欲がある学生 3 名に年間 50 万円、1 名に 30 万円の給付を行いました。

＜教育研究支援事業＞

● 斎藤裕研究助成金
先進的な理工系の研究者支援のため、アメリカパデュー大学へ研究留学した教員 1 名に対して、150 万円を助成しました。

● 学生支援（課外活動支援等）
峰キャンパスにおける課外活動用の備品の補修と整備を行いました。


テニスコート人工芝の補修（84 万円）

サッカーゴールネットの更新（50 万円）

防球ネットの補修（14 万円）

● 教育プログラム支援
平成30年度は、国際連携教育活動への支援を、地域デザイン科学部（3 件/150 万円）、国際学部（1 件/50 万円）に対し行いました。支援した教育活動のテーマは以下のとおりです。

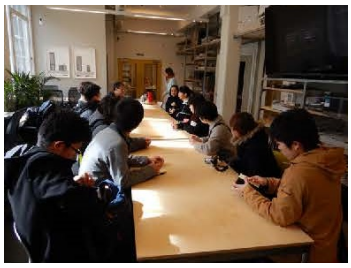
① ベトナムダナン科学技術大学と本学の大学間交流協定締結に伴う国際連携教育の推進

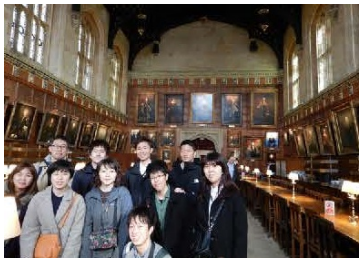
ダナン科学技術大学

ワークショップの様子

② 地域づくり・デザインに関する国際連携教育プログラム

歴史的建造物視察


設計事務所見学と質疑応答


オックスフォード大学見学

③ 工学部建設学科とインドネシアパジャジャラン大学地質工学部との国際連携教育の支援

パジャジャラン大学での講義

水道管内の水質水質調査結果の整理

フィールド調査のスタッフ

④ 台湾における現地学生・院生と本学学生・院生との共同調査・ワークショップの開催

台湾大学にて報告会

現地調査　歴史的建造物視察

● 教育設備の充実

基盤教育英語科目（EPUU）における学習内容の充実を図るため、株式会社 TKC 様のご寄附を活用し、iPad(教員用6台、学生用 66 台)の導入に係る費用 681 万円を支出しました（iPad 本体、周辺機器の購入、運用設計、教室内ネットワーク通信、セキュリティ設備工事を含む）。

平成 29 年度に導入した 60 台に更に加えられたことで、授業中は 1 人に対し 1 台使用できるようになりました。

● 大学院生研究奨励金（フィールドワークグラント）

フィールドワークや各種調査、に主体的・意欲的に取り組む学生 5 件に対して 11 万円の給付を行いました。

● 3C 留学奨励金

海外派遣プログラム（英語研修、インターンシップ、交換留学）に参加する学生に 262 万円の支援を行いました。支援したプログラムは以下のとおりです。

オーストラリアサザンクロス大学英語研修（21 名/各 4 万円）
マレーシアサラワク大学英語研修（28 名/各 4 万円）
ベトナムでのインターンシップ（1 名/4 万円）
ガーナでのインターンシップ（1 名/8 万円）
韓国祥明大学校との交換留学（1 名/4 万円）
教育学部グローバル人材枠（50 万円

サザンクロス大学

サラワク大学

● 積立

次年度以降のキャンパス環境整備（学びゾーン、情報スペース等）の積み立てのために 400 万円を振り替えました。

● 研究寄附金

（工農融合ロボティクス関係）

ロボティクス・工農技術研究所（REAL）における学術研究に要する経費として使用されました。

（指定寄附金）

寄附者から指定された教員に寄附された寄附金は、当該教員の学術研究及び教育活動に使用されました。

＜特別事業＞

● 特別事業予算への振替

2022 年完成予定のヒストリカルゾーン（大谷石蔵、庭園、講堂）の整備にむけて、2,000 万円を振り替えました。

＜地域連携・広報支援事業＞

地域貢献活動支援として、峰が丘地域貢献活動事業（部局企画事業 9 件、学生企画事業 4 件）へ 14 万円の支援を行いました。

＜基金運営費＞

・サポーターパネルの設置、返礼品、寄附特典等、寄付者の方々への対応費用として 422 万円を支出しました。

・リーフレット作成、郵送費等3C基金運営の事務費用として 195 万円を支出しました。

３．今後の計画

これまでの支援事業に加え、学びゾーンの整備、図書館陽東分館の増築（陽東キャンパス）、旧図書館書庫（大谷石蔵）の改装を含むヒストリカルゾーン（峰キャンパス）の整備を進めます。また、令和元年は、宇都宮大学創立 70 周年を迎えるため、関連記念事業への支援を予定しております。

宇都宮大学3C基金の精神に則り、さらなる教育研究活動の充実をはかれるよう支援事業の拡充に取り組んでまいります。今後とも宇都宮大学3C基金に対する変わらぬご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。